R100 古紙パルプ配合率100%再生紙を使用
長野日報 第40920号 (昭和21年2月19日第三

諏訪史」次の一〇〇年へ

第一巻刊行100年を記念し書籍出版

考古学研究会 17人が寄稿

諏訪地域の歴史をまとめた「諏訪史」の第一巻刊行100年を記念し、諏訪考古学研究会（鵜飼幸雄会長）は、書籍『諏訪史第一巻』刊行一〇〇年―次の一〇〇年へ」を出版した。会員17人が、第一巻の内容とその後の100年間を振り返る考察を寄稿。諏訪考古学100年の歩みを知ってもらうとともに、100年先に向けた学問のビジョンを考えるきっかけになることを期待している。

（山本雄太）

書籍「『諏訪史第一巻』刊行一〇〇年―次の一〇〇年へ」をPRする諏訪考古学研究会の幹部

諏訪の考古学史をまとめた諏訪史第一巻は、信濃教育会諏訪部会（現諏訪教育会）が、1924（大正13）年12月25日に発行。当時日本を代表する人類学・考古学者だった東京帝国大学講師の鳥居龍蔵（1870～1953年）を編著者に招き、地元の教員や考古学愛好家らが協力して綿密な考古学的調査を行い、約7年かけて完成させた。

同研究会によると、遺跡や遺物に関する考古学的な資料を地域史の1ページとして位置付けた画期的なものであり、後の全国各地の郷土史誌作成の参考にされたという。その後も諏訪教育会が続編を作り、86（昭和61）年7月刊行の近現代史をまとめた第五巻までである。

書籍はB5判全348ページ。諏訪史発刊に至る経緯から始まり、旧石器時代～古墳時代の各時代の内容と当時の考え方、各市町村における刊行後100年間での新たな発見などを記載した。第4部「鳥居龍蔵の視点を振り返る」では、会員がそれぞれの得意分野について、当時鳥居が考察的に書いた内容を現代の解釈も踏まえて掘り下げている。

「学問を次世代に引き継いでいくには形に残さないと駄目。日々研究努力をしている会員らの力で希望がかなった」と鵜飼会長(71)。「諏訪の考古学にとって諏訪史は今後も根っこになるもの。諏訪には素晴らしい学問的、資料

定価は2500円（税込み）。星ケ塔ミュージアム矢の根や、井戸尻考古館、八ケ岳美術館原村歴史民俗資料館、市立岡谷美術考古館、諏訪市博物館、茅野市尖石縄文考古館で販売。このほか、Fac